



第二言語習得

理論/フィールド/実験

AIと言語

コンテキスト

(再)開発

# 研究者が/AIが/私が “言葉”で描く世界とは

文学的言語

バイアス

言語イデオロギー

コミュニケーション行為

現実と虚構

2022.9.29. Thu. 17:00-19:30

[終了後フリーディス  
カッションあり]

●場所：豊中キャンパス大学会館SSIラウンジ+Zoom\* ●対象・定員：大阪大学の若手研究者で異分野との交流を通じて新しい発想・活動を生み出したい方、先着30名程度 ●参加費：無料

大阪大学は、日本や世界が直面する様々な社会課題に対して解決方法を提示し、さらに学問的にも真理を追究するためのシンクタンクとして、2018年1月に「社会ソリューションイニシアティブ (SSI)」を始動させました。SSIは「命を大切に、一人一人が輝く社会」を目指し、各種活動を推進しています。

## 趣旨

“言葉（言語）”は、現象などの記述を始め、計画や解釈についての議論、あるいは成果を他者と共有し後世に残していくためにも、全ての研究者にとってなくてはならないものです。今回は、言語人類学/社会言語学、文学、AIという異なる分野でそれぞれ“言葉”を対象とした研究に取り組んでいる方々から、自身の研究で明らかにしたい“言葉”にまつわる問いや関連する取組について話題提供いただきます。各研究者が見ている世界を“言葉”から紐解いていくことで、もしかしたらこれまで気づいていなかったかもしれない、“言葉”の世界の豊かさに触れてみませんか。

今回のような分野を超えた研究者間の視点の交換とディスカッションが、将来的に新たな研究領域を生み出し、多くの方々と共に未来に向けた構想を描いていけることを願います。

## プログラム (予定)

- 17:00 開会、SSI紹介（堂目 卓生SSI長より）
- 17:10 第1部 研究者が/AIが/私が“言葉”で描く世界とは
  - 3人の研究者の視点共有（各15分）+Q&A
    - ・話題提供1 榎本 剛士（人文学研究科 言語文化学専攻 准教授）
    - ・話題提供2 渡邊 英理（人文学研究科日本学専攻 准教授）
    - ・話題提供3 中島 悠太（データビリティフロンティア機構 准教授）
- 18:10 ●ミニ・パネルディスカッション
- 18:55 第2部 小グループに分かれての参加者同士の交流
- 19:25 まとめと中締め
- 19:30 - 20:00 引き続き、オンラインでフリーディスカッション

参加登録はこちら



<https://forms.gle/2WbFTNji7AGuCnT7>